

(別添)

財政状況等一覧表（平成17年度）

団体名 野田市

1 一般会計及び特別会計の財政状況（主として普通会計に係るもの） (百万円)

	歳入	歳出	形式収支	実質収支	地方債現在高	他会計からの繰入金	備考
一般会計	41,840	40,685	1,155	963	41,750	0	基金から998百万円繰入
用地取得特別会計	172	123	49	48	-	5	普通会計
普通会計	41,722	40,512	1,210	1,014	43,941	0	

2 1以外の特別会計の財政状況（公営事業会計に係るもの） (百万円)

	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	不良債務 (実質収支)	地方債現在高	他会計からの繰入金	備考
国民健康保険特別会計	(歳入) 13,729	(歳出) 13,546	(形式収支) 183	(実質収支) 183	-	803	
介護保険特別会計	(歳入) 4,994	(歳出) 4,955	(形式収支) 39	(実質収支) 39	-	785	
老人保健特別会計	(歳入) 9,457	(歳出) 9,376	(形式収支) 81	(実質収支) 81	-	642	
水道事業会計	3,668	3,050	618	-	8,878	290	法適用企業
次木親野井特定土地地区画整理事業特別会計※	(歳入) 435	(歳出) 432	(形式収支) 3	(実質収支) 1	2,455	367	
下水道事業特別会計※	(歳入) 3,329	(歳出) 3,383	(形式収支) 63	(実質収支) 50	22,263	1,880	

(注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。
2. 不良債務が～百万円となるときは、「△～」と表記している。
3. ※印の会計における形式収支は、歳入歳出差引きに収益的支出に充てた地方債、他会計借入金及び前年度からの繰越金を加えたものから、積立金及び前年度繰上充用金を控除したものであるため、歳入歳出差引きと一致しないことがある。

3 関係する一部事務組合等の財政状況 (百万円 , %)

	歳入 (総収益)	歳出 (総費用)	形式収支 (純損益)	実質収支 (不良債務)	地方債現在高	当該団体の負担割合%	備考
千葉県市町村総合事務組合	30,514	30,041	473	455	5	0.1	普通会計
千葉県市町村総合事務組合 (交通災害共済特別会計)	165	160	5	5	-	-	公営事業会計
千葉県自治センター	185	176	9	9	-	1.8	
北千葉広域水道企業団	(総収益) 13,503	(総費用) 11,302	(純損益) 2,200	(不良債務) -	68,270	-	法適用企業 繰出金103百万円

(注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。
2. 不良債務が～百万円となるときは、「△～」と表記している。

4 第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況 (百万円)

	経常損益 (千円)	資本又は 正味財産 (千円)	当該団体から の出資金 (千円)	当該団体から の補助金 (千円)	当該団体から の貸付金 (千 円)	当該団体から の債務保証に 係る債務残高	当該団体から の損失補償に 係る債務残高	備考
野田市開発協会	9,572	△ 84,963	35,500	-	-	-	2,476	
(株)野田業務サービス	9,921	22,128	11,700	-	-	-	-	
野田市土地開発公社	△ 22,872	738,590	5,000	-	-	4,040	-	

(注) 損益計算書を作成していない民営法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を記入している。

5 財政指数

財政力指数	0.90	実質収支比率	3.9
実質公債費比率	14.9	経常収支比率	86.7

(注) 実質公債費比率は、平成18年度の起債協議等手続きにおいて用いる平成15年度から平成17年度の3カ年平均である。